

承認組合（※）による農林漁業法人等への出資事例

【承認組合の概要】

組 合 名 称	信用組合共同農業未来投資事業有限責任組合	
運 営 主 体	恒信サービス株式会社 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社	
組 合 員	<ul style="list-style-type: none"> ・北央信用組合 ・秋田県信用組合 ・いわき信用組合 ・あかぎ信用組合 ・君津信用組合 ・第一勸業信用組合 ・糸魚川信用組合 ・都留信用組合 ・笠岡信用組合 ・恒信サービス株式会社 ・フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 ・株式会社日本政策金融公庫 	
組 合 規 模	3.6 億円	
投 資 対 象 の 範 囲	組合員である信用組合営業区域内の認定農業者である株式会社	
上 記 組 合 に 関 する 問 い 合 わ せ 先	担 当 部 署	恒信サービス株式会社
	連 絡 先	T E L : 03-3358-9455

※「承認組合」とは、農林漁業法人等投資育成事業に関する計画について農林水産大臣の承認を受け、農林漁業法人等の株式等の取得及び投資先農林漁業法人等に対して経営又は技術の指導を行う投資事業有限責任組合のことです。

【出資概要】

事例 1	出 資 先 名	有限会社加藤畜産
	所 在 地	北海道勇払郡むかわ町汐見 622 番地の 9
	事 業 内 容	乳牛・肉用牛の販売を主とする畜産業
	出 資 額	10 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	<p>当社は、乳牛・肉用牛を安定して供給している。また、ホルスタイン種に黒毛和牛の受精卵を移植し付加価値の高い肉用牛を生産している。</p> <p>今般、飼育牛の増加に伴う牛舎新築、飼料収穫機械の購入に対応し、設備資金として 10 百万円出資した。</p>
	出 資 金 の 使 途	設備資金
	出 資 形 態	転換社債型新株予約権付社債発行
契 約 時 期	平成 30 (2018) 年 3 月	

事例 2	出 資 先 名	株式会社 プランター
	所 在 地	岡山県笠岡市
	事 業 内 容	バナナ、パパイアの生産、販売
	出 資 額	10 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	<p>当社は、無農薬の国産バナナの生産を主としており、「瀬戸内ばなな」としてブランド認知もされつつある。販路拡大に伴い、作付面積の増加による供給の安定を図る為、ビニールハウスの新築に伴い株・肥料購入資金への出資を行った。</p>
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	平成 30 (2018) 年 3 月	

事例 3	出 資 先 名	株式会社三光ファーム
	所 在 地	群馬県高崎市大沢町
	事 業 内 容	ミニトマト、米麦、野菜の生産と販売
	出 資 額	30 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	同社が、高糖度ミニトマトの生産・販売を収益の柱と考え、事業展開していくにあたり、連棟ハウス新築工事費、高糖度トマトを栽培する生産システムの導入費用について 30 百万円の出資を決定した。
	出資金の使途	設備資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	平成 30 (2018) 年 4 月

事例 4	出 資 先 名	浜の野菜株式会社
	所 在 地	福島県いわき市下神谷字北一里塚
	事 業 内 容	葉物野菜の生産と販売
	出 資 額	30 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	同社関連会社が特許を取得した「地中熱利用システム」を使用し、効率的な小松菜栽培を開始するにあたり、パイプハウス建築、地温制御システムの導入費用に 30 百万円の出資を決定した。
	出資金の使途	設備資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	平成 30 (2018) 年 4 月

事例 5	出 資 先 名	Y&G. ディストリビューター株式会社
	所 在 地	岡山県笠岡市
	事 業 内 容	無菌植物工場での野菜の生産・販売 「たたらシャインマスカット」の生産・販売
	出 資 額	10 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	同社は、無菌野菜工場で安全で良質なリーフレタスやサラダ菜を生産・販売している。 また、工場での野菜生産と平行してぶどうの農園事業も行っており「たたらシャインマスカット」のブランド名で販売している。これら事業の生産量と売上を増加させるために運転資金 10 百万円の出資を決定した。
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	平成 30 (2018) 年 9 月	

事例 6	出 資 先 名	有限会社ドリームファームイザワ
	所 在 地	北海道上川郡
	事 業 内 容	ブロッコリー、大根、かぼちゃを主とする青果物の生産・販売
	出 資 額	20 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	土壌改良により多品目生産が可能となり、安定した高品質野菜の収穫が可能となった。多品目生産による収益の多様化と安定した生産量の確保による売上増加のための運転資金として 20 百万円の出資を決定した。
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	平成 30 (2018) 年 12 月	

事例 7	出 資 先 名	株式会社アグリコネクト
	所 在 地	東京都新宿区
	事 業 内 容	全国から仕入れた無農薬・減農薬野菜の販売及び自前の農場で生産した葉物野菜の販売
	出 資 額	30 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	平成 30 (2018) 年 6 月に東京都日の出町にて葉物野菜の農場経営を開始。葉物野菜を生産できる農業従事者や農場で生産された野菜の物流担当者を採用し、安定した売上増加を図るための運転資金として、30 百万円の出資を決定した。
	出資金の使途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	平成 31 (2019) 年 1 月	

事例 8	出 資 先 名	株式会社大潟村あきたこまち生産者協会
	所 在 地	秋田県南秋田郡
	事 業 内 容	米の販売及び米の加工品（レトルトの非常食、米粉、グルテンフリー食品、甘酒）の生産・販売
	出 資 額	30 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	当社は米の販売だけでなく、米の加工品開発と販売に注力してきた。最近では、加工品のなかでも秋田県が開発した「あめこうじ」を使用した甘酒が好評なことから、甘酒増産の設備資金として 30 百万円の出資を決定した。
	出資金の使途	設備資金
	出 資 形 態	転換社債型新株予約権付社債発行
契 約 時 期	平成 31 (2019) 年 2 月	

事例 9	出 資 先 名	株式会社富士山アグリファーム
	所 在 地	山梨県富士吉田市
	事 業 内 容	夏いちご（ふじなつき）の生産・販売及び加工品の販売
	出 資 額	20 百万円
	出 資 の 経 緯 （ 目 的 ）	平成 30（2018）年に甘味の強い生食用『夏いちご』の栽培に成功し販売を開始した。今後安定した資金繰りを確保し、販路先開拓、加工品開発を行うための運転資金として 20 百万円の出資を決定した。
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	転換社債型新株予約権付社債発行
	契 約 時 期	平成 31（2019）年 3 月